

由利本荘市立東由利中学校



だいやま 台 山



学校HP

【学校教育目標】
清らかにたくましく
学校だより
NO29
令和6年10月21日(月)



第10回記念東由利小・中学校合同駅伝

～地域を感じ地域に支えられ力走～



10月18日(金)、快晴のもと、小中の代表者による選手宣誓によって小中合同駅伝大会がスタートしました。今回の開会式は、10回目の記念すべき大会ということもあり、東京オリンピックでカヌー競技に出場した小野祐佳さん(由利本荘市スポーツ振興大使)をゲストとしてお迎えしました。挨拶では、パリオリンピックに友人の応援で訪れたことや県内のオリンピック選手の活躍に触れるなど、選手に夢や希望を抱かせ、これからの走りを鼓舞する内容のものでした。

開会式後は、それぞれの中継所に移動して、準備運動を行うなどレースに備えます。9時30分、スターターの祐佳さんによる号砲とのろしで、えみの森前を9チームが一斉にスタートしました。

少し緊張しながらも、園児の声援に後押しされ、真剣な表情で力走するトップバッターたち。園の周囲を走った後は、2走にたすきが手渡され、いよいよ地域を駆け抜けます。今回からコースは往復となり、昨年度までとは幾分変わりましたが、先頭は、序盤から少し差の開く展開。それでも徐々に差を詰めるなどして混戦模様……息の詰まる熱戦が繰り広げられ、応援にも力が入ります。しかし、その後は、往路の終盤から復路にかけてピンクチームがリードを広げて独走態勢に入り、そのまま見事に優勝を果たしました。

次々とゴールする選手に、会場からは惜しみない拍手と歓声が送られ、最後まで気を抜くことなく走り抜く姿が感動的でした。当日は、気温も高く、コンディションが心配されましたが、具合が悪くなる選手やたすきがつながらないということもなく、1人1人が苦しさで打ち勝ち、たすきをつないで力走することができました。

閉会式では、ピンクチームで最終走者としてゴールテープを切った3年の小野暖翔さんが、「地域の方に笑顔で励まされ、最後まで止まらずに走り切ることができた。最高の思い出となった。」と、代表で感想を述べました。

暖翔さんの言うとおり、沿道にはたくさんの地域の方が応援に駆けつけてくれ、旗やうちわを振ったり写真を撮ったりと、常に応援の声が飛び交っていました。沿道で応援してくださった方々は600名を超える過去最高の人出だったそうです。当初は、小学生・中学生の走る姿で地域を元気にと思っていましたが、逆に地域からたくさんの活力をいただいたと思っています。あらためて地域と一体となったこの駅伝大会の良さを実感したところでした。

さて、大会では、主催者である学校運営協議会、東由利陸協を始めとした各種団体、老人クラブ、東由利総合支所、保護者のみなさん、えみの森の子どもたち等、たくさんの方々からご協力、応援をいただきました。生徒たちも、地域の協力や応援、温かみを一身に受けながら走ることができました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



駅伝大会を終えての生徒感想より

1年 佐藤 *

中学校に入ってから初めての駅伝は、自分の中で一番楽しい駅伝大会でした。今回の駅伝大会は、数日前から自ら走って体力をつけようとしたり、本番での地域の人との交流もあったり、とてもリラックスしながら走ることができました。今大会は、1年生がアンカーという僕が見てきた中で数少ない事例を、まさか自分が行うことになっておどろきと不安が数日前までありました。しかし、地域の人や家族、チームの仲間の応援もあり、最後まで走りきることができました。「あ、東由利ってこんなに温かい町だったんだ」と、改めて気づき、つい涙してしまいました。中1の最高の思い出になりました。



2年 古川 **

私は、地域の方々の応援のおかげで疲れてもしっかり走り、最後の人にしっかりとたすきをつなげることができて良かったです。そして、待ち時間の時などに3年生の人とたくさん話したりして交流をより深めることができたのでうれしいです。私は「1, 4km」という長い距離を走ったのは、今までの駅伝で初めてだったのできつい場面が多かったです。でも、一生懸命、自分なりのスピードでがんばれたので良かったです。来年は「小中合同駅伝大会」が最後なので来年も精一杯がんばります。

3年 小野 **

今年で最後の小中合同駅伝大会でしたが、チームのみんなと協力して、最後までタスキを繋ぐことができたので良かったです。誰一人ケガや体調を崩す人がなくて良かったです。駅伝大会に応援に来たのが過去最高人数で約600人もの方が応援してくれたということにすごく驚きました。第十回も駅伝大会が続いているということも、たくさんの方々の協力のおかげだと改めて感じることができました。私自身は、誰かをこすことができず、逆にこされてしまい、迷惑をかけてしまったかもしれませんが、休むことなく、歩くことなく最後まで走りきることができたので良かったです。また、たくさんの方々が、応援で「頑張れ」と言ってくれて、一つ一つに「ありがとうございます」と言えたので良かったです。これを通して改めて、東由利は温かいところだなと感じました。

